

閑上地区まちづくり協議会 世話役会(126) 議事録

日 時	平成 29 年 11 月 7 日 (火) 18:30~21:00
場 所	名取市復興区画整理課会議室 (仙台法務局名取出張所 2 階)
出席者	世話役 : (代表) 針生勉 (副代表) 今野義正、阿部ひで、(事務局長) 今野慎介、南部比呂志、宇佐美久夫、庄司則雄、千葉洋子 (事務局) コンサルタント 2 名
オブザーバー	市職員 震災復興部復興区画整理課 2 名、生活再建支援課 1 名 仙台高専 2 名 傍聴 1 名
議 題	0. 事前確認 1. 名取市からの情報提供 2. 情報共有について 3. その他
資 料	資料-0 次第、第 125 回世話役会議事録案 資料-1 情報共有資料 資料-2 スケジュール案

○ 協議要旨

0. 事前確認について

<議事録確認>

- ・第 125 回世話役会議事録は、市が確認後、確定することとした。

1. 名取市からの情報提供

- ・11 月 11 日に県道東側の災害公営戸建住宅の入居者や防災集団移転による再建者をあつめて、顔合わせ会が開催されるとのことで、名取市でアンケート調査を行い、参加意向を確認他という情報提供があった。
- ・11 月 17 日に第 2 期の戸建公営住宅の鍵引渡し式があるとのことで、まち協の説明の時間をいただけることとなった。

2. 情報共有について

- ・なとり秋祭りへのまち協展示、ミズベリングゆりあげやまちなか再生協議会が開催されたことが報告された。
- ・まちなか再生計画については、勉強が必要との話になった。
- ・バスルート等の公共交通のあり方には、課題が多いとの意見が多く出された。

3. 今後のスケジュール

- ・12 月に合宿の提案があったが、引越し等世話役の事情を踏まえ、年明けに持ち越すこととなった。但し、来年の定期総会までの検討内容や進め方を整理し、まち協の来年度の活動方針や懸案となっている事項などの対処方策を検討していくこととした。

4. その他

- ・仙台高専が新たに入居が始まっている公営住宅に意向調査を行いたいという要望や第 1 期公営

集合住宅のサロンの活動状況の方向を行いという話があり、次回報告をしてもらうこととなった。意向調査は、鍵引き渡し式、集合住宅の集まりなどのときに、打診することとなった。

<次回世話役会>

- ・次回世話役会は11月21日（火）とする。

次回予定:世話役会(127)11/21(火)18:30～ 名取市震災復興部会議室

以下、世話役会の主な意見について記載する。

0. 事前確認

資料-0 第125回世話役会議事録案

<議事録の確認>

- ・第125回世話役会議事録は、市への確認後、確定する

1. 名取市からの情報提供

<顔合わせ会>

→防集移転団地と災害公営2期の戸建住宅の居住者に対して、アンケートを実施し、顔合わせ会へ出席したいが4名、できれば出席したいが19名、行かないが11名となっているが、どういふ方が近隣で住んでいるかわからないので、出席したいという方が多かつた。

- ・ポケットパークで開催するということが、寒さ対策はどうするのか？

→テントを設営し、横幕で囲むなど対策したい。机、いすなどを用意している。

- ・できる限り出席したい。

→アンケートとはどういふ方法で実施したのか？（事務局）

→生活再建支援課で個別に訪問し、配布回収し、事情のある方は郵送回収もしている。

・災害公営団地の中央第一も、会議などの集まりが悪いらしい。棟長がいるとのことだが、なかなか集まらなかつた、苦労しているらしい。

・いろいろ住んでいると問題が出ているようだ。今後、いろいろと関わるにしても、住民側の気持ちを考えてデリケートな部分なので、大きな問題があつたらまち協でも吸い上げることは可能と伝えている。

- ・住民同士だけで解決できるのか？

・まずは、住民同士で解決すべきだし、話し合いで対応できると思う。今のメインは、共益費の支払いらしい。

→毎日生活再建支援課に連絡があり、個別に対応はしている。住民同士で8割対応して、残りを市で対応するなどしているが、相談件数の量は多い。共益費については100%回収できたとのことであり、役員ががんばっている。個別にいろいろあるらしいが、滑り出しとしては良い方向と考えている。

・今後は、町内会費の徴収が必要で重要な要素である。いい方向となっているので、うまくいくことを願っている。

・共益費の徴収は、E棟の入居後がいいのではという人もいるらしい。棟ごとに話し合つて、問題が生じれば、管理組合全体で協議していくという話らしい。

→棟長ごとに違ふ意見もあるし、情報共有ができてない部分もある。月1回、会議はしているようだし、不安はあつたが、順調に回収できているということからホツとしているらしい。

- ・エレベータ利用は場所によって不便なので、階段利用になっている方などもいるらしい。
 - ・個人の意見をいろいろ聞いてはいるが、大事なことは棟長同士で話し合いをして、検討していくとしている。
 - ・地域コミュニティの再生が課題となって、いろいろ議論してきたが、今後、住民の意見がうまく行政に伝わっていくかがポイントである。
- 連絡はこまめに支援課のほうにもあがってきている。支援課で受けきれない内容については、庁内で対応している。しかし、市内部では、例えば市が何でもやってくれるという意識をあたえることはまずいと思っているので、まずは住民同士で解決してもらうことが重要。
- ・市のほうで、できないことはできないとちゃんと言うべきだろう。
 - ・美田園北団地は、市に面倒みてもらっていないという意識があるので、閑上のほうにあまり、綿密に市が手を出すと反発がくることもあるので、気をつけて欲しい。
 - ・美田園北団地には、市の手が回らなかったことを問題として、住民側が新たな取り組みを実行して現在があるということでもあり、そこは住民にとって気になるポイントであり、美田園北団地についても、今後の対応を改善すべき点もあるかもしれない。
 - ・言えばやってくれるという、仮設住宅のときもあった支援慣れについて、自立的な自治運営を行う方向にうまく誘導していくべきだろう。

<閑上二期集合の鍵引き渡し>

- 11月17日に予定されており、40戸中、29戸が入居予定となっている。
- ・4棟長の挨拶やまち協の説明も行う予定である。
 - ・あまった住居はどうする？
- 募集の努力をすることになる。
- ・早めに入居促進対策を実施すべきだ。市にまかせっきりだけでなく、まち協も対策を検討したほうが良い。
 - ・市の考え方として次の対策は、被災者以外となるのか？前倒しして、事前に入居募集に対する知恵だしなど、段取りできるのか？
- まだ、くわしくはわからない。
- ・空きがある中で、新規を建設しているので、定住に関してはより深刻だ。
 - ・聞いたところによると、災害公営住宅3期にあたっているが、2期の戸建に入りませんかという話を市から打診されたという方もいる。
 - ・入居条件の緩和など、家は、住んでいないと痛むこともあるため、保守のためにも、入居促進策について、実施できることはやって欲しいものだ。
 - ・やはり、3期のところは便利なので、2期への移動は慎重らしい。
 - ・ここまで待ったら、確かにそういう意向もわかる。
 - ・水産加工団地の従業員へのアプローチも必要だと思う。
 - ・閑上への子育て世代の移住は、100万円の助成金もある。
- 今後、県道をはさんで、東西に2箇所社員寮の建設も考えられていることは聞いている。
- ・公営住宅も収入に応じた家賃なので、収入が多い人は入居もむずかしい
 - ・新住所について、各課に情報が提供されているのか？庁内で情報の共有ができないのか？
 - ・ごみ収集所の問題がだいぶ大きくなりつつあるので、クリーン対策課や庁内各課に情報をうまく提供して欲しい。
 - ・移り住んだ人に街灯がなくて夜道があるきにくいということを言われている。仮設的にも用意

して欲しいとの話だ。女性に真っ黒な夜道を歩かせるのは忍びない。また、整備済みのところと未整備の宅地の段差があるところだが、現在のままでは危険ではないか？加えて、防塵ネットの設置期間はいつまでなのか？12月末までは全て移転となるので、前倒しで除却できないかと思う。→工事班に確認する。
→防塵ネットは、防犯対策のためにも設置続けるということにはならないか、気になるところだ。
(事務局)

2. 情報共有について

<ミズベリング閑上について>

- ・ミズベリング閑上実施の直前の会議での話し合いで、ようやく自分としては会議の趣旨なども含めて役に立ったと思った。特に、大学生と交流の機会は非常によかった。若い人にサポートしてもらいながら、このようなイベントができたのは重要だと思う。しかし、適正なコントロールも必要であり、今後につながるイベントだったと思う。テントを張って店を構えるなどしたので、マスコミの取材もあり、知名度も上がったと思う。
- ・大学生については、学校のゼミ単位で協力してもらえているようだ。
- ・改善点としては、事務局の一員がもっと多かったらいいと思う。まち協の出展の立ち回りも、事務局の機転として、有効だったと思う。
- ・世話役が委員長となっているのもいいと思う。
- ・15, 6日頃に会議で、いつごろまた実施するかを検討する予定である。
- ・各業者さんが入ってくれたことがやはり良いと思う。当日は、まち協の役割なども質問された。
- ・ミズベリング閑上は、来年3月で一応、終了との話となっている。
- ・このイベントや事務局は、にぎわい拠点の組合に吸い上げてもらえることを期待している。
- ・実施当日は、いろいろ面倒なことに対応していただいた事業者に、感謝している。

<まちなか再生協議会>

- ・まちなか再生計画が作成され、かわまちテラス閑上への補助金導入のため、来月12月に復興庁に計画を提案し、11月に現地視察があるとのことだった。その後は、1月に認定予定、2月に補助金の交付申請、3月に交付決定の予定だそうだ。
- ・計画に対して質問があったが、特に、バスルートについて、にぎわい拠点へのアクセスとして、8m道路にバスを走らせることはできないとのことだった。閑上港北線を走り、テラスのところは公民館前にバス停が設置され、そこから徒歩ということだった。
- ・朝市へのバスルートは、慰霊碑前までいくということだった。そのバス停から朝市まで徒歩ということだったが、関係者からは高齢者は歩けないとの話もあった。金融機関と駐在所は、郵便局は立地予定、銀行は未定、駐在所は岩沼署に候補地を3箇所提示していて、検討中ということだった。
- ・まちなか再生計画の中身を理解するのは、時間が必要、今後、情報共有する。
- ・バスルートの問題について、にぎわい拠点の近接地への乗り入れによる集客向上をより重要と考えるべきだろう。歩かせるという考え方は違うと思う。
- ・まちなか再生協議会の位置づけは重要であり、かつ、具体的な計画を検討している。したがって、地域の横断的な連携について、東北大学の先生は、積極的な情報交換が需要で、協議会の相互連携などが必要との見解だった。この協議会をすすめていく上で、地域貢献なども勘案した企

業進出など、企業論理だけでは、まちなか再生が進まない。協議会との情報共有が必要ではないかと思う。イベントをうまく活用することも可能になるのではないか。

・まちなか再生計画には、まち協の提案も計画に反映しているとのことだった。

→バス交通が拠点にとって重要との話になっているので、それらをまとめて協議会の声として打ち出していくことが必要かもしれない。(事務局)

・イベントのときに、高齢者の足の確保としてバスルートが必要だが、実際は乗ってくれない。仕立方としてニーズにあっているのか、定住が進む時間経過の中で対応していくべきか悩ましいところだ。

・名取市全体として、観光拠点などの資源をつないでいけるバス路線の確保が必要だと思う。

・人が来るのは仙台からだろう。名取をベースに考えるのではなく、観光客、来場者を吸引するには仙台を無視できない。

・四郎丸からあんどん松、酒蔵、閑上港のルートが大学の先生の訪問ルートだったが、仙台からのアクセス方向であり、閑上としては、その方向性については大事にしていく議論が必要だ。

・具体的に3月の改正において、ルート改正もあると思うが、話し合いで決まるタイミングや話し合いはいつから始まるのか？

→確認するが、公共交通会議にかけることが前提である。

・お茶のみ会などの集まりでは、バスの話になる。

・来年の3月までは我慢だと思うが、頻度が多くなると問題の改善にならないので、事前に話を聞きたい。

・バスに変わる公共交通などもありえるのではないか？

・トヨタ財団の勉強会において、足の確保策として、スーパーが10人乗りの車を用意し、運転手は有償で雇い、運行している例がある。その意味としては、スーパーがあるところには医療施設もあるということで、行政が支援しているかもしれないが、ひとつの足の確保策であると思う。

・白タク的なアクセス方法の必要性はある。しかし、行政の承認など、ハードルが高い。

・いろいろな施設で、アクセスについては同じことをしている。

・バスだけでは無理だろう、なんかの方法で検討すべきだ。

・他地域での運用を勉強して、転用したらよい。

・運転手の問題などもあるので、やはり公共交通のルートの確保が基本だろう。

3. 今後のスケジュール

・来年度の総会における2018年度作業方針について、今後の期間では議論すべきではないかと思う。

・総会では、当然、公園緑地部会でまとまったことを提案するのだろうが、それ以外になにやるか？

・まち協の将来の形について想定することが必要な時期だとは思う。

・関係団体と話し合いをしていくべきではないかと思う。サイクルスポーツセンター、慰霊碑、防災ステーション、トレイルセンターなども誰かどのように管理していくのか、まち協が担っていくこともないことはない。だから、各団体と話し合っていくべきだと思う。

・ボランティアでやっていくのは限界だ。市の出資で行っているのだから、それが切れたらどうということになるのか、運営についても検討すべき時期だ。

・しかし、それを検討する時期として12月は忙しいと思う。

→意見を話し合うだけではないか？

- ・12月は忙しい、2月でもいいのでは？
- ・来年の2月に、事前にアンケートをして、合宿して検討するのもいいのではないかと思う。
- ・公園緑地部会の話もある。まとめ方もある。検討する項目を整理すべき。
- ・やるときは毎週でもいいのでは？
- ・自治会等へのソフトの話もあるとは思う。
- ・緑道はどうか？

→そこそこ対応できる予定だ（事務局）

- ・予算内での話として、公園緑地、緑道も考えるべきだろう。
- ・そうでないと、公民館と同じことになりかねないので、やはり意見の反映の仕方が気になる。

→設計担当者や市の関係者と協議をしつつ、公園緑地部会での議論について、整理している。（事務局）

- ・行政側からの提案の条件を踏まえ、どこまで住民が検討できるかを整理して、話を進める。
- ・原案を決めているのかどうか？
- ・案はだしてほしい。
- ・予算と同時に、説明してもらったほうが良い。
- ・住民との話し合いで整理できていくのではないか？
- ・望むことが現実的なものなのかどうかを判断する必要はある。
- ・西団地のポケットパークを春先に整備するとか、まち協と公園緑地部会、住民、仙台高専などと一緒に整備をするなどの取り組みはどうだろうか？
- ・テストケースとしてそのようなことも進めるべきだろう。

→個別にワークショップとして検討できるのは13ある。

- ・サンプルを作ることにより、住民の声が反映できる。
- ・通常総会前に、やるべきだろう。
- ・住民が手をかけて公園を作るということが、その他の公園に影響させていきたい。
- ・トレーラーハウスの設置はないだろう。

→公園を住民が整備するという事？

→ためしに作ってみるといふこと？メニューとして何を整備するかを選択できるなら問題ないが、

- ・総会までに公園については整理をすべきだろう。
- ・小中一貫校への携わり方はどうか？
- ・通学路については問題だ。
- ・周辺からの通学路確保が特に問題だ。PTA ではいろいろ課題を整理している。バスによる通学は、通学希望者は一歩引くことになる。
- ・バスルートが相互台からの通学で確保できるかどうかということも判断となるという生の声があった。
- ・通学バスルートのあり方は、理想的には秋に示して欲しいとの話になる。
- ・工事の変化と安全な通学環境について、学校と復興部が調整して欲しいと思う。
- ・子供の通学が始まる来年の4月以降については、安全な通学路の確保について、まち協も考えるべきではないか？
- ・まち協はできる範囲の協力はできるが、地域との連携として、問題を提起してもらって検討する必要があるのではないか？
- ・段階を踏んだものを示すべき、生徒を安心して通学させる方法を確保すべきではないか？
- ・解決は難しいかもしれないが、糸口は付けられるのではないか？

- ・工事の進捗状況と通学路の話セットで示していく必要があると思う。
 - ・期待することは分かるが、復興部で教育部への情報提供が遅れており、担当課での情報が遅れていたりする。見守りは自治会でやるべき内容だろう。
 - ・子供の見守りは、残っている上町町内会が担うことはありえるだろう。
 - ・シルバー隊という仕組みがあり、ボランティアは学校に申し込めばできる。
 - ・要請を受けるような話があるとよい。
 - ・検討する項目が多いので、項目を整理して検討していくべきだろう。
 - ・工事の途中でも安全な通学路の確保できるように検討するべきだろう。
 - ・現場に落とし込む仕組みがあるということだが、それだけでいいのかどうか？
 - ・小中一貫校などの開校を控えて、検討すべき役割を明確にしていくことが必要だ。
 - ・推進委員会があるので、バスのルートなど、安全な通学路の確保について、引き続き情報提供していく。
 - ・現行の町内会への相談があっても良い。
 - ・2週間1回のペースで整理できるかどうか？
- ひもとき約になっている？横の連携など
- ・通学、バス、公園、緑道などが総会に向けて重要。体制作りも話したい。
 - ・新しい考え方もあるし、通常総会で解散ということも想定できる。だから、なくなって困る話はなんだろうとかも検討すべきだろう。
 - ・持続させる方法なども、アンケートを作って整理したら言いと思う。
 - ・いろんな切り口で整理していきたい。
 - ・委託管理をお願いできる方法も検討して欲しい。
 - ・有償での取り組みなども考えられると思う。
 - ・まち協がなくなっても住民は困らないだろう。
 - ・そうなる、住民は直接話を市に持っていただけだろう。
 - ・でも、住民としては解決策を市へ提案する際に、団体が欲しくなるのでは？
 - ・上町町内会はあるが、最小の行政単位から行政へ話ができれば、まち協の存在はなくなっていく。
 - ・コミュニティの連携が見えてないので、問題も見えていない部分もある。

4. その他

- ・サロンの利用実態調査の報告をしたい。(仙台高専)
- ・戸建住宅の住まい方調査の集合住宅版を実施したい。それについて協力をお願いしたい。
- ・次回に仙台高専から提案する。調査の進め方など、17日の鍵渡し式に声掛けすることは可能か？
- ・可能だ。第1期集合住宅にはどうする？
- ・組合長に話をして了解をもらえればいいのか？但し、伝え方には工夫が必要。
- ・時間が少ないので。世話役、生活再建支援課と調整する。

以上

<次回世話役会>

- ・次回世話役会は11月21日(火)とする。

次回予定:世話役会(127) 11/21(火)18:30～ 名取市震災復興部会議室